

持経宿・平治宿の巡回整備作業

◇実施日 平成26年10月04日(土) 晴時々曇り

◇参加者 玉岡憲明、東 真澄、玉岡 明、川島 功

沖崎吉信、生熊敏男、生熊千満子、根木俊明

畑林秀味、畑林清子、大江加予子、大江徳子、

児嶋道夫、濱野兼吉、青木宏充(前泊) 計15名

玉岡・東の御大を迎えての作業なので、私は非常に緊張をしての参加であった。今回は集合場所・山地のコンビニで、生熊さんから頂いた薪からムカデが車内に出るといふ珍事やら、池郷林道ゲート直前で大江徳子さんの車がパンクするというアクシデントがあり、持経宿到着が少しおくれた。

持経宿では毎週の如く大峰に入っているという前泊の青木さんと合流。川島代表の挨拶、沖崎さんの報告を受け、行者堂のお供え替えをして、以前と変わらぬ玉岡憲明さん導師で勤行し、本日の作業の安全と峰中無事を祈願する。



持経宿に到着！

行者堂前に集合！

以前と変わらぬ玉岡導師

平治宿班(沖崎・川島・濱野、児嶋、畑林清、生熊千)と千年檜周辺の奥駈道の整備班に分かれる。

平治宿班は、寄付して頂いた毛布13枚をそれぞれ背負子に担ぎ、千年檜周辺整備に使う道具等を持ち、平治宿に向け出発する。ところが平治宿の排煙煙突の外壁板トタンと雨水貯槽の蓋取替の風呂蓋の忘れに気付く。

奥駈道周辺のブナ、ミズナラ等の樹々は少し紅葉をはじめ、秋の深まりを感じさせる。持経宿では少し寒いなあーと感じたが、進むにしたがつて体が汗ばんでくる。見れば前を行く川島さんは半袖Tシャツ姿で歩いている。順調良く進み11時には平治宿に到着。

沖崎・濱野は水場の整備に下る。貯水槽には水は貯まっているが沢からの水は殆んど流れていなく、このまま雨がなければ水涸れする。

沖崎さんは持参した行平鍋と漏斗を紐で結わえ、水汲が出来るように取付ける。私は貯水槽に溜まったゴミを取り除き、底に嵌り込んだシーボルトミズもすくい取る。

貯水槽は泥濁りになったが、泥も沈殿してやがて水は澄み、煮沸すれば何とか飲む事はできるだろう。

水場への小径は思っていたより急峻で体が強ばり、柔軟性がなくなっていく自分の体の老化に不安を感じ、皆さんに迷惑をかけないよう慎重に、ゆっくり行動しなければと肝に銘じる。

川島・児嶋さんは、屋外排出煙突の調整と屋根のペンキ塗替えに向けメジャーで塗布面積を測り、雨水水槽と雨トユの清掃。

生熊千・畑林清さんは、小屋の床を拭き、棚の整理をして運んだ毛布を備え置く。床にカーペットを敷き、粘着テープで付いているゴミを取り除く。児嶋さんがロケット・ストーブに火を入れお湯を沸かす。作業は順調良く進み、昼前には終了する。

昼近くに前鬼から半パン姿の若者が顔を見せ、台風が接近して来ているのでと先を急ぐ。若い人は足が速い、凄いなと思う反面、まだダニや蛭がいるから足を露出しての縦走はどうなのかと危うさも心配もする。

沸いたお湯で、川島さん提供の味噌汁をいただく。寒がりの私にはストーブも心地よいし、温かい味噌汁も有難い、食後のコーヒーも、生熊千満子さん差し入れの塩花林糖もおいしい。

沖崎さんから先日倒木処理に行き、楊子ノ宿避難小屋に泊まった時、避難小屋にはトイレがなく、雨の時は庇の下で大便をする不埒な者がいるという報告を受けた。そういえば先週、深仙宿避難小屋でも、小屋の中にテントを張ったままの状態で放置されていたし、沢山のゴミが散乱していて回収して来た。

最後に小屋利用の心得や協力・志納金の要請をパソコンで打ち直し、目に付くところに貼るために書き写す。

小屋内外を整頓し、ゴミを回収して帰路につく。



作業終了の平治宿班 倒木処理後の迂回路

千年檜前の木製階段

持経宿から千年檜を通り過ぎた鞍部手前の奥駈道は、倒木を切断してその間に迂回路を通し、坂道には栈木の階段が出来、土を入れ見違えるように整備された。これで林道への転落事故

の心配もなく、安心して通る事ができる。

持経宿に帰ると作業を終えた千年檜周辺整備班が、コーヒーを淹れ、横浜の小林和子さん、東さんからのカステラ、デザートに川島から富山産の梨、柿が出て豪華なおやつとなる。

児嶋さんは、川島氏の「烏帽子名の山々200山」に刺激され「日本百高山」に挑戦され、職業上の小型トラックに單車を積載し、アプローチから下山帰宅まで、全て単独行で登頂・踏破された快挙の御祝に、新宮山彦ぐるーぷから「シチズンの掛時計」を川島代表より贈呈された。

富山県の薬師岳を手始めに、最後に鳳凰三山の薬師岳で締めるあたり、玄人肌の粋が伝わってくる。達成した百高山には、一つ一つの思い出があることだろう。また機会をつくって聞かせただければと思う。とりあえずおめでとうございます。

今後二百高山などを目指して頑張ってください。

今日は、名古屋で仕入れたというモトクロスを颯爽と乗りこなす児嶋さんのバイク姿は、まだまだ若くて格好良い。



児嶋さんに御祝贈呈

久しぶりの玉岡・東の両御大

行者堂前で記念撮影

玉岡・東さんを迎えての今回の行事は、ムカデ騒動やパンクというアクシデントもあったが、以前と変わらぬ迄に成られた玉岡さんが山行に復帰され、新宮山彦ぐるーぷの意義のある例会になったと思う。

私は平治宿からの帰路、倒れたミズナラの木に椎茸が3個生えていて、山の恵みを土産に頂いて帰った。 (記 濱野)

行動タイム

新宮 7:00→8:10 池原スポーツ公園 8:30→9:30 持経宿 10:05→
11:00 平治宿 12:50→13:35 持経宿 14:30→15:15 池原スポーツ
公園 15:25→16:50 新宮

寄贈品

平治宿の毛布：大江・生熊・川島各3枚、畑林2枚、沖崎・
古物商（ワクワクドッカーン）各1枚。計13枚。

平治宿の雑巾：畑林清子。

持経宿の薪：生熊敏男。